

3月 4-10日

詩編 16-17編

111 番の歌と祈り | 開会の言葉 (1分) 田中克彦 | 水品安章

神の言葉の宝

1. 「エホバ、 良いものは全てあなたから来ます」 (10分) 長谷川 貴史

エホバに仕える人たちとの友情から得られる喜び。 (詩 16:2, 3) 私はエホバに言った。 「あなたはエホバ、 良いものは全てあなたから来ます。 ³ 私は、 地上にいる聖なる人たち、 立派な人たちのことをとても喜んでいます。 塔研 18.12 26 ページ 11 節)

エホバとの親しい関係から得られる満足感。 (詩 16:5, 6) エホバが私の全て。 良いものを与えてくださり、 私の財産を守ってくださる。 ⁶ 心地よい場所が私のために測り分けられた。 私は自分の財産に満足する。 塔 14 2/15 29 ページ 4 節)

エホバから保護されているという安心感。 (詩 16:8, 9) 私はエホバを絶えず自分の前に置く。 神が右にいてくださるので、 決して動搖することはない。 ⁹ 私の心は喜び、 内から喜びが湧き上がる。 私は安全に住む。 塔 08 2/15 3 ページ 2-3 節)



エホバは良いもの全てを与えてくださる方。 ダビデのようにエホバへの崇拝を第一にするなら、 私たちも充実した生き方ができる。

考えてみよう 「エホバの証人になってよかったですと思うのはどうしてだろうか」。

2. 宝石を探し出す (10分) 米山 英行

詩 17:8 私をあなたの瞳のように守ってください。あなたの翼の陰に隠してください。

「あなたの瞳」という表現にはどのような意味があるか。 (洞-2 621)

ヘブライ語のイーショーン (申 32:10; 箴 7:2) は、アイン (目) とともに用いられると、字義的には「目の小児」を意味します。同様に、哀歌 2 章 18 節ではバト (娘) が「目の娘」という概念で用いられており、どちらの表現も瞳のことを指しています。詩編 17 編 8 節ではこの二つの表現が強調のために組み合わされており (イーショーンバト・アイン)、字義的には「目の小児と娘」 (「目の瞳」、新世) を意味しています。これは、他の人の目の瞳の部分に映って見える、自分の小さな像のことを言っているようです。 目は極めて傷つきやすく敏感なので、まぶたと眼球の間にたとえ細い毛や一片のほこりが入ってもすぐに気づきます。瞳を覆っている目の透明な部分 (角膜) は、保護し、大切にしなければなりません。もしこの部分がけがで傷ついたり、病気のために濁ったりすると、物がゆがんで見えたり盲目になったりすることがあります。聖書は、最も大切に保護されるべきものとすることを述べる際に、力強く、なおかつ繊細に「あなたの目の瞳」という表現を用いています。神の律法はそのように扱われるべきです。 (箴 7:2) 神がイスラエルを父親のように顧みられたことについて、申命記 32 章 10 節は、神がその国民を「ご自分のひとみのように」守られたと述べています。ダビデは、神が自分を「目の瞳」のように守り、顧みてくださるよう祈りました。 (詩 17:8) ダビデは敵の攻撃下にある時に、エホバが自分のために素早く行動してくださることを望みました。 (ゼカ 2:8) と比較。そこでは、「目の玉」を意味するヘブライ語バーヴアトアインが用いられている。) — 「目」を参照。

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。ダビデは(17:14-15)で、世の中の人々からの迫害ではなく、今の命しか受け分がないために快適な生活を送ることに没頭する人々の生き方の影響力からの助けや救いを求めている。私たちもエホバと共に居られる靈的な宝の素晴らしい価値や喜びから目をそらされないよう、闘い続ける必要を教えてくれていると感じた。

3. 聖書朗読 (4分) 詩 17:1-15 (教励 第 5 課) 星 拓哉

野外奉仕に励む

4. 会話を始める 田島 マヤ 教11 平山 優子

(1分) 家から家で。記念式の招待状を渡す。 (教励 第 11 課)

5. 会話を始める 金刺 亜以子 教9 高橋 節子

(3分) 家から家で。記念式の招待状を渡す。関心を示した人に「イエスの死を思い起こしました」との動画を紹介し、話し合う。 (教励 第 9 課)

6. 会話を始める 水品 由美子 教2 大坂 典子

(2分) 日常生活で。記念式の招待状を渡す。 (教励 第 2 課)

7. 教えて育てる 金刺 由里子 教6 枝並 あや子

(5分) 暮 レッスン 14 序文とポイント 1-3 (教励 第 6 課)

クリスチャンとして生活する

20番の歌

8. 記念式に向けてどんな準備ができますか (15分) 討議。 滝 秀貞



3月24日日曜日、私たちはイエスの指示に従ってイエスの死の記念式を行い、エホバとイエスのとても大きな愛について思い起こします。 (ルカ22:19。ヨハ3:16; 15:13) この特別な式に向けてどんな準備ができるでしょうか。

- 熱意を込めてキャンペーンに参加し、特別講演と記念式に招待しましょう。招待したい人のリストを作ります。自分の会衆の区域外に住む人を招待する場合、その人が住む地域の記念式の時間と場所を jw.org で調べてください。
- 3月と4月には、伝道にもっと参加できます。15時間か30時間の補助開拓奉仕ができるでしょうか。
- 3月18日から、イエスが亡くなった週に起きた重要な出来事について読んで考えるようしましょう。6-7ページの「[2024記念式の時期に読む聖句予定表](#)」の中から、それぞれの日にどの聖句を読むかを決めましょう。
- 記念式当日、jw.org で特別な朝の崇拝を視聴してください。
- 記念式では、初めて来た人や不活発な人を温かく迎えてください。式の後、その人たちが持つ疑問に答えるようにします。さらに関心を持ってもらうため、再び会う約束をしてください。
- 記念式の前も後も贍いについてじっくり考えましょう。

「イエスの死を思い起こしましょう」の動画を再生する。次の質問をする。

この動画を記念式のキャンペーンでどのように使えるか。 ①「イエスの死を思い起こすることは、なぜそれほど大切なのでしょうか？このビデオをご覧ください。」と言って見ていただく。 ②視聴後に、「イエスの死を思い起すなら、どんな素晴らしい時代に生活できる希望を持てることが分かりましたか？」などと質問する。

9. 会衆の聖書研究 (30分) 徹6章18-24節、48ページ囲み 竹林 直毅 朗読: 長谷川 瑛一

閉会の言葉 (3分) | [73番の歌](#)と祈り 吉田 忍